



## 田代 純利

勤務先：株式会社電制  
事業本部新エネグループ  
〒004-0005 札幌市厚別区  
下野幌テクノパーク 1-2-1

TEL 011-809-2056

FAX 011-809-2057

E-mail: yoshikazu\_tashiro@dencom.co.jp

専門：原子力・放射線部門

### 自己PR

小生、19歳まで東京生まれの東京育ちの江戸っ子でした。その後北海道の大学に進学して6年間札幌で過ごした後、9年間の茨城勤務を経て、再び来道(Nターン?)して現職となり3年が経ちます。今では庭先で焼肉をする立派な北海道人となりました。さて、この原子力・放射線部門に係わるようになったのは大学にて原子工学を専攻したことがきっかけです。とはいえ、その時点では“将来原子力に関連した職に就くんだ”という意志などは全くなく、大学院では水素貯蔵合金の研究に携わりました。大学院修了後、平成5年に非鉄金属製造メーカーに就職し、原子力関連施設に配属されたことから、本格的に足をつっこむことになりました。そこでは、主として低レベル放射性廃棄物の処理処分等のバックエンドに関する委託研究開発に携わり、その過程で除染処理等の化学技術、安全評価等の線量評価技術、放射線測定技術や施設管理等の原子力関連技術の他、産業廃棄物処理、排水処理や化学分析技術も身につけることができました。また報告書作成や学会口頭発表、学会論文発表等の経験を積み、現在でもそれらの経験を多分に活かしております。このとき(数年前)にはエンジニアとして技術士になりたいと思いつつも、原子力関連の部門が存在しておらず“残念”に思っておりました。その後、別分野でのキャリアアップを図って、平成14年より現職で有機物を用いた水素貯蔵技術に関する技術開発を行って

り、プロセス技術や触媒の開発・評価、化学分析等を担当しております。一方で、原子力・放射線分野についてもそれまでの経験を活かして、知人の環境コンサルタント会社より技術調査等を個人請負しており、原子力分野との関わりを継続させております。今後、さらに経験を積み、ゆくゆくは一旗挙げようかという願望を腹に持っております。

### 技術士1次試験受験

平成16年度より技術士部門に原子力・放射線部門が加わるということを知り、衛生工学部門で活躍している知人より教えられ、将来一旗挙げるために絶対に必要となるはずだという意志を持って、一次試験を受験することにしました。受験に当たっては、当該部門の初年度ということで過去問など存在せず、基礎科目と適正科目は市販の参考書(オーム社“完全突破!技術士一次試験—基礎科目・適性科目・共通科目編—”)で勉強し、参考書で理解できない箇所はインターネットで調べ(便利な世の中になったと感じる瞬間)、専門科目は原子力白書を一通り目を通した以外には特段一次試験のための勉強は行いませんでした。実際に受験してみて、専門科目はこれまでの業務経験で何とかかなり、基礎・専門は勉強しないとれなかった内容でしたので、上記の勉強方法は小生にとっては間違っていなかったと思います。(この部門は初年度故か合格率が高かった—対受験者合格率84.4%—ので、今後の難易度はどうなるのかわかりませんが。)

### 今後に向けて

まずは2次試験を突破しなければならないので、前記衛生工学部門の知人の助言に従い、日々手指を鍛えております。本部門の技術士制度は始まったばかりではありますが、高い安全性が求められる原子力という分野で、高い意識を持った技術士としてその安全性・信頼性の向上の一助となれるよう、これからも研鑽を積み重ねていきたいと思っております。将来に業務でお世話になった際にはよろしくお願い致します。